

2020年11月

2020年度保護者会アンケート結果概況

IR室より

このアンケートは、2020年10月に実施した保護者懇談会(Web開催)アンケート結果から、本学の教育内容に関する項目を抜粋したものです。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、web開催(オンライン)での実施となり、アンケートにご回答いただいた方が少なくなりました。しかし、いただいた貴重なご意見につきましては、本学の教育改革の参考にさせていただきたいと思っております。

今回のアンケート結果の概況は次の通りです。

【在籍学科に対する満足度】

本学(大学、短期大学部)の教育活動にご満足(“満足”と“やや満足”の合計)をいただいている結果となりました。

【身に付けさせたい能力】

学生に身に付けさせたい能力については、「専門性」と「コミュニケーション能力」が高く、次に「チームワーク」、「問題解決能力」の順でご回答をいただきました。「専門性」と「コミュニケーション能力」が高くあげられたことは、大学入試改革が進められる中で学力の3要素を求められる時代背景もあり、学生だけでなく保護者としても「専門性」と「コミュニケーション能力」が重要であるという認識が広がっていることがうかがえます。

【本学が今後充実させるべき点】

本学が今後さらに充実すべきことについては、「専門性」と「語学力」、「就職支援」が一番高く、次に「教養」と「キャリア教育」のご回答をいただいております。

これらの結果から、保護者の皆様には、知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤となる知識基盤社会の中で、個人の能力を最大限に引き出し、一人一人が国家社会の形成者として社会に貢献しながら自己実現を図り、よりよい人生を生きられるような能力の養成が求められていることがわかりました。また、「就職支援」や「キャリア教育」が挙げられているということは、「就職に役立つ知識やスキルを身に付けること」は、大学が責任をもって指導・支援すべきと期待している保護者が多数いるということがうかがえました。

【本学に対するイメージ】

大学と短大ともに、「専門的職業人育成」が最も多くあげられており、本学が教育理念としてかかげている「実践的教育」ということに通じていると考えています。

【大学・学部を選ぶ際に重視する項目】

第1に「先行したい学問分野があること」が挙げられており、続いて「専門的な知識・技能が身に付くこと」、「将来役立つ資格が取れること」などが挙げられています。このことは、免許・資格等の取得をめざす学部・学科に対する強い期待の表れであると考えています。引き続き、皆様の期待にこたえられるような教育を展開していきたいと考えています。

本アンケートで得られました貴重なデータは、本学の教育内容の充実のための貴重な資料とさせていただきます。

ご協力いただきました保護者の皆様方に厚くお礼申し上げます。